

ON!

Old but New

伝統を残しながら、変わり続ける街
大手町・丸の内・有楽町の
街づくりを発信する情報誌

私を、磨く、街。

TOWN WHERE
I CAN IMPROVE MYSELF



1月12日、丸ビルの「丸の内カフェーズ」で行われた「丸の内落語会」。ビジネスマンが行きかう1階通路から撮影(本文参照)。

2005 WINTER

004



進化する街で、自分も進化させる。

TOWN WHERE I CAN IMPROVE MYSELF



昔から、ここに勤めていることが大きなステータスだった街、大手町・丸の内・有楽町地区。

日本最初の本格的なビジネスの集積地として、様々な分野のエキスパートたちが集い、

日本の近代化の中心を担ってきた。

今この街では、地区全体を一つの都市としてとらえ、統一した方針のもとに街づくりが進められている。

情報が集まり、そして情報を発信する街へ。人々が集まり、数多くの出会いがある街へ。

そして、洗練されたレストランやブティックが集まる、おしゃれな街へ。

この街は、世界に開かれた、グローバルなビジネスセンターとして生まれ変わろうとしている。

ここに来れば、何かが学べる、何かと出会える。

キャリアを磨き、センスを磨ける街、それが大手町・丸の内・有楽町なのだ。

「ON!」第4号では、自分を磨く数々のスポットを探ってみよう。

今号より、携帯電話を使った街ナビサイト「東京丸の内ユビキタスミュージアム」(裏表紙参照)との連動が実現!本文中のQRコードで、さらに詳しい情報にアクセスしてみよう!

東京丸の内ユビキタスミュージアム

Ubiquitous Museum of

Marunouchi





キャリアを磨く。

大手町・丸の内・有楽町地区には、世界中からの最先端の情報が集まっている。日本のビジネスの表玄関として、また日本経済を動かしていく司令塔として、この街は動き続けている。そして、ここは次世代の日本を担う人材を育てていく街でもある。

Career Up

■ ビジネスの街に、 キャンパスがある。

慶應丸の内シティキャンパス

東京駅の目の前にあるキャンパスは?と聞かれたら、あなたなら何と答えますか?その答えは、「慶應丸の内シティキャンパス」が正解。丸の内八重洲ビル内にメインキャンパスがあり、慶應義塾の教授陣や各界の第一線で活躍する実務家・専門家を講師陣として招き、ビジネスに密接に関連したテーマを取り上げている、ビジネスパーソンのための学舎だ。人気の定例講演会「夕学(せきがく)五十講」は、ビジネスマンが仕事帰りに受講できるよう夕刻18:30~20:30に開催。1月の講演は長野県知事の田中康夫氏他が、2月にはアートディレクターの北川フラム氏など多彩な講師が魅力だ。



■ 慶應丸の内シティキャンパス
03-5220-3111
丸ノ内八重洲ビル6F

<http://www.keiomcc.com/>



写真は、ソムリエの田崎真也氏を招いて開催したスペシャルセミナー。

■ サクセスの方程式、 教えます。

丸の内キャリア塾

キャリアデザインを真剣に考える女性におすすめなのが、女性限定のビジネスセミナー「丸の内キャリア塾」。日本経済新聞社が主催するもので、旬のテーマ、旬の人を迎えての講義は、いつも300人の定員がいっぱいになるほどの盛況ぶり。マネジメントからCSR、ビジネスでの心理戦など、キャリアをバックアップする専門的な知識をオールラウンドに学ぶことができる。協賛企業とタイアップした無料のスペシャルセミナーや、海外セミナーなども随時開催。

■ 日本経済新聞社 広告局 業務推進部
03-5255-2589
お申し込み
<http://www.nikkei-yukanad.net/>



■ ブックアドバイザーは 知識の水先案内人。

丸善・丸の内本店

丸の内オアゾにオープンした丸善・丸の内本店は“Book Museum”をコンセプトにした日本最大級の書店。あまりの書籍の多さに圧倒されてしまうが、ご安心を。本屋さんのコンシェルジュともいうべき、ブックアドバイザーがあなたのお目当ての書籍を探すのを親切に手伝ってくれる。書籍の専門家であるブックアドバイザーは、各フロアにそれぞれのジャンルに詳しい人材が10数名配置されている。だから、専門的な書籍を探す場合でも頼りになる。ブックアドバイザーを活用して、お気に入りの一冊を見つけてください。

■ 丸善・丸の内本店
03-5288-8881
丸の内オアゾ ショップ&レストラン1~4F
<http://www.maruzen.co.jp/home/tenpo/maruhon.html>



ブックアドバイザーの1人、小松原さんは「人文」の専門家。「ブックアドバイザーのおすすめする本」フェアも企画中とのこと。



大手町野村ビル、地下2階の「野菜工場」。一般の方も見学できる。お申し込みは、新規プロジェクト担当まで。



■ 地下2階の銀行金庫跡で ハイテク農業を学ぶ。

農業インターンプロジェクト

この街で学べるのは金融やITだけじゃない!大手町野村ビルの地下2階にある銀行地下金庫跡が、なんと野菜畑に。「太陽」は発光ダイオード(LED)などの人工照明。コンピュータで室温制御し、無農薬のトマト、サラダ菜を生産する。コマ栽培のための棚田も設ける予定だ。運営するのは人材派遣会社のパソナ。より多くの人に、農業に関心をもってもらうために、あえて都心のビルに開設した。2003年から実施している農業研修の案内などを行う。収穫した野菜等は試食もできる。

■ 農業インターンプロジェクト
03-6734-1070
(株)パソナ 新規プロジェクト担当

<http://www.pasona.co.jp>



「地元」の人のガイドで、 丸の内を再発見する。

丸の内ガイドツアー 「Discovery in Marunouchi」

その土地の魅力を知りたいなら、やはり地元の人に聞くのがいちばん。そこで、このガイドツアー。主催は、NPO法人の大丸有エリアマネジメント協会。この地区に関わりのある企業や団体、学識者、弁護士などが集まり、街の活性化、交流の機会を創っていきこうというNPO法人だから、丸の内の本当の魅力を教えてもらうには、これ以上のガイドはないだろう。ツアーの内容は、そのつど異なるが、多様な魅力に溢れる街へ変化しつつある大丸有をガイド付きで巡ってくれる。また、希望すれば、参加者の要望にあわせたオリジナルのツアーもプランニングしてくれる。不定期に行われるので、スケジュール、料金などは、電話かHPでご確認を。



■ NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会
03-3287-5386

<http://www.ligare.jp>
e-mail info-omy@vesta.dti.ne.jp



センスを磨く。

大手町・丸の内・有楽町地区は、ビジネスだけでなく、数多くの女性や若者の注目を集める街だ。有名ブランドのブティックも次々とオープンし、ショッピングの街としても人気が高い。そして、この街は、知性はもちろん豊かな感性を育む街でもある。

Sense Up

■ ライフスタイルをデザインしていますか？

セミナーオ

ミレナリオは有名だけど、じゃあ「セミナーオ」は？知っていたら、かなりの丸の内通。セミナーオは、IDÉEと三菱地所のコラボレーションによるフリースペース「MARUNOUCHI CAFE」で行われている、ライフデザインをテーマにした体験型セミナー。プログラムは、オーガニックなライフスタイルを提案する「Feeling Earth」や、体の歪みを改善していく「R-BODY」などなど。店と利用客との自由な関係の中で新しいカルチャーを発信しており、ときには利用客自身がセミナー講師になることも。



カフェの利用客だった写真家 中藤毅彦氏によるワークショップ。同スペースで、中藤氏の写真展も開催。

■ MARUNOUCHI CAFE
03-3212-5025
<http://www.marunouchicafe.com>



■ 丸の内では日本の伝統文化を体験しよう。

丸の内元気文化プロジェクト

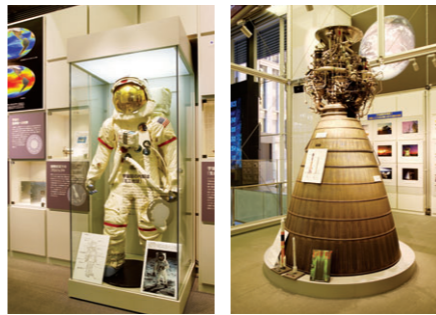


第6回「丸の内落語会」で熱演する入船亭扇遊。

普段は若者やビジネスマン・OLで賑わう丸の内カフェ イーズが爆笑に包まれる「丸の内落語会」。このイベントは、街の文化力を高め、その力で社会を元気にしようという「丸の内元気文化プロジェクト」の一つ。文部科学省も後押ししているこのプロジェクトは、落語の他にもコンサート、トークサロンなど幅広い文化活動を展開している。街を散策しながら伝統文化に出逢うことができ、楽しみにしているファンも多い。都心に聞く、粋な小咄で元気を取り戻そう！



■ 丸の内元気文化プロジェクト
03-6734-3161
<http://www.marunouchi.com/bunka/index.html>



■ 駅前宇宙探検のすすめ。

JAXA i(ジャクサ アイ)

日本のあらゆる情報が集まる大手町・丸の内・有楽町地区。宇宙の最新情報だって例外ではありません。丸の内オアゾにあるJAXA iは、JAXA(宇宙航空研究開発機構)の情報発信の中心。宇宙航空開発の最新情報が手に入るだけでなく、宇宙から見た地球の映像や歴史的に貴重な初期の宇宙開発映像を見ることができる。種子島宇宙センターやケネディ宇宙センターでのロケット打ち上げシーンのライブ映像も中継する。丸の内、想いを宇宙に馳せよう。

■ 宇宙航空研究開発機構 JAXA i
03-6266-6400
丸の内オアゾ ショップ&レストラン2F
年中無休(元旦、2月第3日曜日を除く)
入場無料 午前10:00~午後8:00
http://visit.jaxa.jp/jaxai/index_j.html



ベートーヴェンづくしの3日間。音楽で街づくりを！「ラ・フォル・ジュルネ音楽祭」。
「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」
LA FOLLE JOURNÉE au JAPON
アーティストック・ディレクター ルネ・マルタン氏



「ラ・フォル・ジュルネ音楽祭」とは1995年にフランス・ナント市で誕生したユニークなクラシックの音楽祭。ポルトガルのリスボン(2000年から)、

スペインのビルバオ(2002年から)でも毎年開催され大成功を収めている。「ラ・フォル・ジュルネ」とはフランス語で「熱狂の日」という意味。ヨーロッパで数ある音楽祭の中でもっともエキサイティングなものだ。そしてアジア地区ではじめて、丸の内エリアにこの熱狂の音楽祭がやってくる！この音楽祭の音楽監督であり音楽プロデューサーでもあるルネ・マルタン氏にお話しをうかがった。

●「ラ・フォル・ジュルネ音楽祭」とは、どんな音楽祭なのですか？

クラシック音楽の殻を打ち破って、多くの人に聞いていただくには、誰もが来て楽しめる音楽祭が必要です。私がめざしているのは、一流の演奏を低価格で提供することで、明日のクラシック音楽を支える新しい聴衆を開拓することです。

●ナント、リスボン、ビルバオに続き、なぜ丸の内エリアを選んだのですか？

私はつねに日本に魅了されてきました。日本人のまじめで熱意ある仕事ぶり、そして熱狂的な聴衆。

また、日本には、今日の世界の音楽シーンに刺激を与えている素晴らしい音楽家たちが数多くいます。多くの聴衆が、一流の演奏家たちと、出会い、交流する場として、この丸の内エリアほどふさわしい場所はありません。

●「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン音楽祭」は、どのようなイベントになりますか？

2005年4月29日から3日間、東京国際フォーラムで約150本のコンサートを大小のさまざまな会場で開催します。テーマは「ベートーヴェンと仲間たち」。東京国際フォーラムのどの会場、どの通りや広場からも素晴らしい音楽が聞こえてくる「音楽の島」にしたいと思います。

●ラ・フォル・ジュルネ音楽祭は、街づくりとどのような関係があったのでしょうか？

ナントやリスボン、ビルバオでは、この文化活動の成功が、街のイメージを大いに向上させました。文化の発信地としての認知を高め、国際交流を深めることができたのです。日本でも、この音楽祭が街の発展に大きく寄与していくことを願っています。

■「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン音楽祭」

お問い合わせ:東京国際フォーラム 03-5221-9100
最新情報:<http://www.t-i-forum.co.jp>

T O P I C S

東京駅八重洲口再開発計画着工。

昨年9月10日、東京駅八重洲口再開発計画の「北ビルI期」「南棟」の新築工事が着工した。竣工は、「北ビルI期」が平成19年10月末、「南棟」が平成19年8月末となっている。この開発による東京駅八重洲口の業務・商業機能及び交流機能の充実が期待される。



[建物概要]

北ビルI期

敷地面積：約14,400㎡
主要用途：事務所、店舗、
駐車場
最高高さ：約200m
(B4F～43F)
延床面積：約172,000㎡

南 棟

敷地面積：約5,200㎡
主要用途：事務所、店舗、
駐車場
最高高さ：約200m
(B4F～42F)
延床面積：約140,000㎡

(仮称)ザ・ペニンシュラ東京、着工。

昨年10月1日、千代田区有楽町一丁目において「(仮称)ザ・ペニンシュラ東京」が着工された。竣工は平成19年に予定されている。

[建物概要]

敷地面積：4,300㎡
主要用途：ホテル
最高高さ：約112m(B4F～24F)
延床面積：約59,500㎡



スカイバスTOKYO運行開始。

昨年9月10日より日本初の2階建てオープンバス「スカイバス TOKYO」が運行開始した。これは丸の内の三菱ビル前から出発し、皇居、銀座等を経由する約45分間のコースを周回するもので、日本の歴史と未来が体感できる。運賃は大人1200円、子供(4歳以上12歳未満)600円。
<http://www.skybus.jp/>



(仮称)JR東日本東京駅日本橋口ビル着工。

東京駅の日本橋口において、昨年10月18日「(仮称)JR東日本東京駅日本橋口ビル」が着工した。平成19年3月の竣工が予定されている。

[建物概要]

主要用途：オフィス、コンファレンス、ホテル
最高高さ：170m(B4F～35F)
延床面積：約79,000㎡



ケータイを使って街そのものを博物館に!

「まち歩き携帯ナビ」と、見えないポストイット「置き手紙」を楽しむ「東京丸の内ユビキタスミュージアム」が昨年末の東京ミレナリオからスタート。街でバーコードを見かけたらその場でピブッとお願ひします。

<http://tokyo-dmy.jp/>



発行：大手町・丸の内・有楽町地区
再開発計画推進協議会

〒100-8133 東京都千代田区大手町1-6-1
大手町ビル635区
TEL.03-3287-6181 FAX.03-3211-4367
ホームページ <http://www.lares.dti.ne.jp/~tcc/>

●編集後記

“街づくりをやさしく、やわらかく”をテーマとする新しいスタイルの小冊子「ON!」。2004年2月に第1号を発刊し、この第4号で2005年を迎えることができました。
今回のテーマは「私を、磨く、街。」。新しい春を迎え

るにあたって、「何かを始めてみよう」「こんなことに参加してみたい」といった気持ちも頭をもたげるはず。そういった場面での参考になれば幸いです。ご意見、ご感想等ございましたら、下記までお寄せ下さい。 e-mail:tcc@lares.dti.ne.jp